

笹徳印刷株式会社カレンダー2020年版 1月干支飾り(つるし飾り)組立レシピ



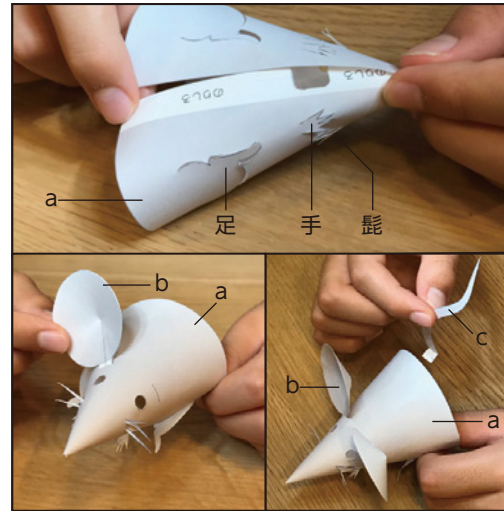
1.干支飾り(つるし飾り)の展開図をダウンロードする。

2.ダウンロードしたデータを必ず、ペーパークラフト専用紙を使い、出力する。
(※インクジェット用厚手マット紙など)

理由:吊り下げる飾り機能を伴うペーパークラフトなので、紙自体に強度が必要です。紙が厚すぎても、作りにくくなるので一般的なペーパークラフト専用紙の厚みを、目安としています。

※お好みの色柄紙を使用しても制作可。
※その場合は「線のみタイプ」をダウンロードしお手持ちのプリンターの取り扱い説明書に必ず従い、出力可能な色柄紙で出力を行ってください。
(いずれも紙の厚みは上記に準じてください)

3.展開図干支飾り(つるし飾り)のカット線を全てカットする。



4.カットしたパーツ全ての山折り線、谷折り線へ丁寧に折り目をつけておく。
※ペーパーナイフなど。

5.a(ネズミ)ののりしろに糊をつけ、写真のように円錐状に形作り、髭、足、手を外側へ反らせて一旦置いておく。

6.b(ネズミの耳)ののりしろに糊をつけ、写真のように逆円錐になるように形作り貼ってとめる。aの(ネズミの目の上)の切れ込みみにb(ネズミの耳)を写真のように差し込みのりしろでとめる。

7.c(ネズミの尾)ののりしろに糊をつけ、写真の位置に貼って、ネズミ自体が完成。一旦置いておく。



8.d(チーズ)の全てののりしろに糊をつけ、写真のように三角柱に形作る。一旦置いておく。

9.f(扇)を山折り、谷折り線で蛇腹に折り、写真の位置で、お好みの紐等で結んでとめる。

※e(松竹梅)のパーツは、完成時にお手持ちの刺しゅう糸等をはさんで貼り合わせます。



10.扇、チーズ、ネズミ、松竹梅各パーツをお手持ちの刺しゅう糸等を使い、つなげて完成。※完成図参照。

※写真では、扇、松、梅、チーズ、竹、ネズミ、梅の順に刺しゅう糸を針で通しています。また、松竹梅のパーツは表裏のパーツで糸をはさんで、繋げています。

※繋げ方は、飾る場所等に合わせたり、お手持ちの道具を利用して、様々なお好みの工夫を楽しんでみてください。

※パーツを繋げる順番も、お好みでOKですが扇のパーツが一番上の位置をお勧めします。